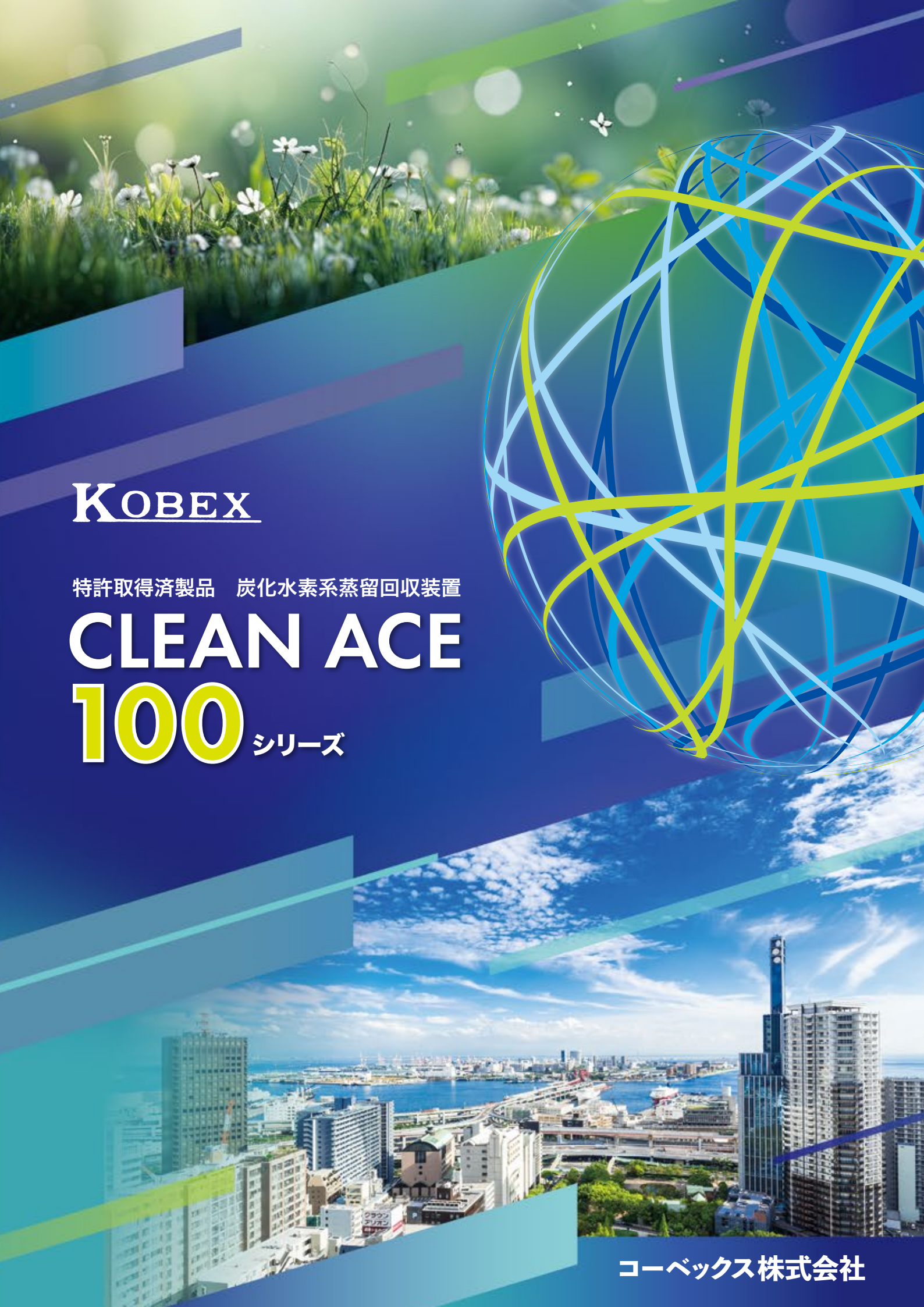




KOBEX

特許取得済製品 炭化水素系蒸留回収装置

CLEAN ACE
100 シリーズ

コーベックス株式会社

はじめに

我が国は、2050年に温室効果ガスの排出をゼロ（カーボンニュートラル）とする方針を表明しています。

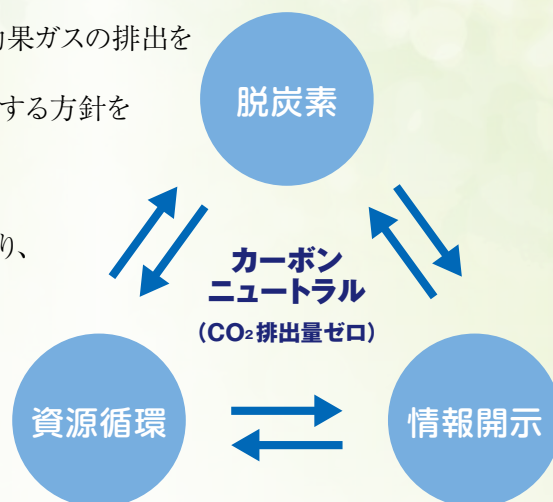
環境問題は企業の責任であり、ESG*を経営の中心に置く、持続可能な環境・社会の実現が不可欠となりました。

地球環境への取り組みと

して、脱炭素、資源循環、

情報開示を推し進める工場・事業者様に対し、

コーベックス株式会社は3Qで共に貢献致します。



*ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）、Governance（ガバナンス）で構成され、目先の利益や評価だけではなく、環境や社会への配慮、健全な管理体制の構築などによって持続可能な発展を目指す経営です。

Quantum（クオンタム） 経験の量

Quest（クエスト） 課題の探求

Quality（クオリティ） 安全の質

特徴

1 防爆仕様・安全設計

- ・ 要求仕様・お客様独自の設備ガイドラインに準じたオーダーメイド・特注設計が可能
- ・ 防爆タイプは、日本の消防許可が取得できる
- ・ 生産物外相責任（PL）保険付き

2 アフターセールスサービス

- ・ 日本製の為、メンテナンス及び消耗部品の手配もスムーズ
- ・ インストール後の改造や最適化、リモートメンテサービスも充実
- ・ 気液接触部オールステンレス仕様、パッキン・ガスケット類はテフロン仕様の長寿命設計！

3 技術と実績

- ・ 蒸発器の加熱はヒートパイプ（特許）による熱伝播設計。ヒートパイプ構造により熱源の作動液は半永久的に使用可能な為、メンテナンスフリー
- ・ 労安法 有機溶剤中毒予防規則に準じた局所排気システムが標準設計。オペレーター及び作業環境にも配慮
- ・ 国内外を問わず装置の出荷／納入台数は、4000台以上の実績！

安全性

爆発トラブルを防止する方法は、次の3要素のいずれかをなくすことです。



1. 装置内に点火源のない防爆電気部品を選択
2. 温度管理は3種類の独立したコントローラで3重安全構造
3. 蒸発部と加熱部は完全に隔離された安心設計
4. 蒸発器の加熱は最新技術を駆使したヒートパイプによる熱伝播設計
5. 運転中の蒸発器内部はサイトグラスからモニター可能

適用溶剤例

酢酸エチル、MEK、トルエン、キシレン、IPA、アルコール類、シンナー（混合溶剤）、および中高沸点の炭化水素系溶剤、グリコール系溶剤、NMP等、沸点～約220℃ぐらいのものまでを対象としています。

廃溶剤はユーザー様に多種多様です。装置ご検討の際は、事前サンプルテストをご推奨致します（無償）。回収した溶剤の純度分析等も対応可能です（有償）。

蒸留回収システム

沸点150℃以下は常圧蒸留、150℃以上は真空蒸留を推奨しています。処理方式は、不純物に固形分が含まれる場合は、一斗缶処理または袋処理となります。一方、不純物が固形分を有さない機械油や沸点差50℃以上ある油分等の場合、直接投入で処理可能です。

	蒸留方式	処理方式	パラメーター	設定温度
↑ 沸点 150℃ 起点 ↓	真空蒸留	袋処理	蒸留温度（熱源ヒーター）	～150℃
			溶剤温度（溶剤ガス温）	～135℃
		直接投入	蒸留温度（熱源ヒーター）	～130℃
			溶剤温度（溶剤ガス温）	～110℃
	常圧蒸留	一斗缶処理	蒸留温度（熱源ヒーター）	～250℃
			溶剤温度（溶剤ガス温）	～160℃
		袋処理	蒸留温度（熱源ヒーター）	～150℃
			溶剤温度（溶剤ガス温）	～135℃
		直接投入	蒸留温度（熱源ヒーター）	～150℃
			溶剤温度（溶剤ガス温）	～135℃

常圧蒸留回収装置

CLEAN-ACE 101

常圧タイプは装置に廃液の入った一斗缶ごと装置にセットすれば、後は温度・時間を設定して運転ボタンを押すだけ。時間が経てば蒸留再生された液が出てきます。

仕 様	型 式	
	CA-101-A	CA-101-2DC
蒸留方式	常圧蒸留方式（バッチ式）	
処理方法	一斗缶処理 or 耐熱袋処理	
適用溶剤	第1・2石油類	第1・2石油類
機器仕様	安全場所設置型	完全防爆仕様
処理能力	15～18L/回（3～4Hr）	30～36L/回（3～4Hr）
電 源	200V 単相 2.0kw	200V 単相 4.0kw
加熱方式	ヒートパイプ	ヒートパイプ
制 御 盤	内圧防爆構造	内圧防爆構造
チラーユニット	※オプション	



CA-101-A

バーチャル工場内で確認する



CA-101-2DC

バーチャル工場内で確認する



小型連続溶剤再生装置

CLEAN-ACE 101-2DC Auto

廃溶剤ドラムから、回収液ドラムまで自動給液/自動送液ができる装置です。液の移し替え等が不要となります。ハンドリングは、各ドラムにランサーノズルをセットすればOK。運転後の温度制御、蒸留回収は、機械が自動で行います。また、汚染液ドラムの入口溶剤不足、ならびに回収液ドラムオーバーの満タン時には警報がなり、集合異常表示灯にアラーム表示もされます。各種インターロック対策、機器はすべて防爆仕様で構成されている為、防爆エリアで安全に稼働できます。



ACE101-2DC Auto

仕 様	型 式
	ACE101-2DC Auto
蒸留方式	常圧蒸留方式（連続式）
適用溶剤	第1・2石油類
機器仕様	完全防爆仕様
処理能力	9～12L/Hr
電 源	200V 単相 5.0kw
加熱方式	ヒートパイプ
制 御 盤	内圧防爆構造
冷 却 水	0.2MPa 15L/min

真空蒸留回収装置

CLEAN-ACE 103V

真空方式は、沸点 150℃以上の炭化水素系溶剤の回収に適しています。

低温処理の為、常圧蒸留における高温処理時の熱分解や、酸化劣化による回収液の品質の悪化を抑制できます。

また、爆発3要素（①可燃物・②点火源・③酸素）の3番目を無くすることで、稼働時の安全性をより高くすることができます。

仕 様	型 式	
	CA-103V-A	CA-103V-C
蒸留方式	真空蒸留方式（バッチ式）	
処理方式	直接投入 or 耐熱袋処理	
適用溶剤	第1・2石油類	第1・2石油類
機器仕様	安全場所設置型	完全防爆仕様
処理能力	15～18L/回（～3Hr）	15～18L/回（～3Hr）
電 源	200V 3相 3.0kw	200V 3相 3.0kw
加熱方式	ヒートパイプ	ヒートパイプ
制 御 盤	内圧防爆構造	内圧防爆構造
チラーユニット	※オプション 冷却水 0.2MPa 15L/minが必要となります	



CA-103V-A

バーチャル工場内で確認する



CA-103V-C

小型溶剤回収装置 CA-100シリーズ は、
廃溶剤の排出量が月 2t 以下の少ない用途の場合に適しています。

HP へはこちらから ▶



https://www.kobex.co.jp/plist1/p_ca_100/



IMARC の最新レポートによると、世界の溶剤市場規模は、2021 年の 450 億 5880 万ドル（約 6.75 兆円）から 2028 年までに 678 億 3780 万ドル（約 10 兆円）に達し、年平均成長率は毎年 6.00% と予測されています。国連の SDGs に対応する為、持続可能性マネジメントの実践が深く浸透している企業は、収益性において同業他社を 21% 上回り、その過程で収益を上げていることが報告されています。この現状を踏まえ、廃溶剤を回収・再利用する為に、蒸留回収システムが有効な効果をもたらすことを確信しています。

主な納入先

株式会社アイシン	住友ベークライト株式会社	日亜化学工業株式会社
アルプスアルパイン株式会社	住友大阪セメント株式会社	日本電気硝子株式会社
アイシン・エイ・ダブリュ株式会社	住友ゴム工業株式会社	新潟太陽誘電株式会社
アキレス株式会社	スリーボンド化成株式会社	ニッタ株式会社
阿波製紙株式会社	株式会社 SCREEN	ニチアス株式会社
味の素ファインテクノ株式会社	セーレン株式会社	日本電子株式会社
アサヒシューズ株式会社	セントラル硝子株式会社	日本航空電子工業株式会社
株式会社イノアックコーポレーション	積水化学工業株式会社	ニプロ株式会社
株式会社ヴァレオジャパン	ゼネラル株式会社	日世株式会社
MGC エテクトロテクノ株式会社	象印マホービン株式会社	ニッカン工業株式会社
AGC 株式会社	大陽日酸株式会社	阪急阪神ホールディングス株式会社
エスアイアイ・プリンテック株式会社	株式会社ダイセル	バンドー化学株式会社
大阪市高速電気軌道株式会社	大日本塗料株式会社	BASF ジャパン株式会社
オキヰモ株式会社	大日本印刷株式会社	早川ゴム株式会社
OPI 株式会社	大日本パッケージジ株式会社	バナソニック株式会社
大倉工業株式会社	大和製罐株式会社	日野自動車株式会社
オカモト株式会社	株式会社ダイトー	富士フイルム株式会社
株式会社オカムラ	台湾 BenQ Materials Corp	藤森工業株式会社
大分キャノンマテリアル株式会社	台湾 CMMT Corp	株式会社フジシール
大塚化学株式会社	太陽インキ製造株式会社	福助工業株式会社
株式会社大石膏盛堂	タツタ電線株式会社	富士特殊紙業株式会社
川崎重工業株式会社	ダイヤモンド電機株式会社	富士電機株式会社
関西ペイント株式会社	中国塗料株式会社	フジテック株式会社
株式会社カナオカ	株式会社椿本チエイン	本田技研工業株式会社
共同印刷株式会社	デンカ株式会社	北海製罐株式会社
京セラ株式会社	デクセリアルズ株式会社	HOYA 株式会社
キャノン株式会社	天馬株式会社	ミネベアミツミ株式会社
グンゼ包装システム株式会社	DIC 株式会社	三菱重工業株式会社
黒田精工株式会社	TDK 株式会社	三菱造船株式会社
コルベンシュミット株式会社	株式会社寺岡製作所	三菱ケミカル株式会社
小島プレス工業株式会社	株式会社デンソー	三井化学株式会社
株式会社小松製作所	トヨタ自動車株式会社	三井金属鉱業株式会社
コニシ株式会社	豊田合成株式会社	三菱電機株式会社
株式会社サンエー化研	東プレ株式会社	株式会社村上開明堂
サカタインクス株式会社	東亜合成株式会社	株式会社村田製作所
サーモス株式会社	東京応化工業株式会社	森六テクノロジーズ株式会社
株式会社ジェイテクト	東武化学株式会社	森下仁丹株式会社
新明和工業株式会社	東洋紡株式会社	矢崎部品株式会社
神東塗料株式会社	東洋インキ株式会社	ヤマハ株式会社
昭北ラミネート工業株式会社	TOPPAN 株式会社	ユニ・チャーム株式会社
昭栄化学工業株式会社	東罐興業株式会社	横浜ゴム株式会社
シークス株式会社	東洋アルミニウム株式会社	ヨネックス株式会社
信越化学工業株式会社	東レ株式会社	リンテック株式会社
シチズン時計株式会社	TOTO 株式会社	株式会社リコー
株式会社ジェイ・エム・エス	TOYO TIRE 株式会社	株式会社 LIXIL
株式会社 J-オイルミルズ	日本発条株式会社	株式会社レゾナック
スズキ株式会社	日本ペイント株式会社	ロックペイント株式会社
住友理工株式会社	日本パッケージング株式会社	YKK 株式会社
スタンレー電気株式会社	日本ゴア合同会社	(敬称略)
Spiber 株式会社	日東電工株式会社	
株式会社 SUBARU	NISSHA インダストリーズ株式会社	



KOBEX コーベックス株式会社

〒650-0047 神戸市中央区港島南町4丁目2番12
TEL (078) 303-2501 FAX (078) 303-2400
E-mail: eigyoubu@kobex.co.jp
<https://www.kobex.co.jp>

